



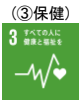




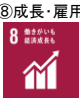









真庭SDGsパートナー宣言書

企業・団体名 有限会社醍醐の里

代表者名 牧 生夫

次のとおり真庭市とともに持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献することを宣言します。

1 関係するSDGs目標（ゴール）（○を入れてください。）複数選択可

 <p>①貧困 1 貧困をなくそう</p>		 <p>②飢餓 2 飢餓をゼロに</p>		 <p>③保健 3 質の高い健康をすべての人に</p>		 <p>④教育 4 質の高い教育をみんなに</p>	
 <p>⑤ジェンダー 5 ジェンダー平等を達成しよう</p>		 <p>⑥水・衛生 6 安全な水とトイレを世界中に</p>		 <p>⑦エネルギー 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>		 <p>⑧成長・雇用 8 働きがいのある経済成長を</p>	
 <p>⑨イノベーション 9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>		 <p>⑩不平等 10 人や国の不平等をなくそう</p>		 <p>⑪都市 11 住み続けられるまちづくりを</p>		 <p>⑫生産・消費 12 つくって責任、つかって責任</p>	○
 <p>⑬気候変動 13 気候変動に具体的な対策を</p>	○	 <p>⑭海洋資源 14 海の豊かさを守ろう</p>	○	 <p>⑮陸上資源 15 陸の豊かさも守ろう</p>		 <p>⑯平和 16 平和と公正をすべての人に</p>	
 <p>⑰実施手段 17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>							

2 持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献する内容

当社は、SDGsの⑫⑬⑭について、スタッフ全員で啓発活動を継続し、目標の達成に向け貢献したいと思います。

⑫「エシカル」って何？と言う事で、弊社の「道の駅 醍醐の里」の店舗内で、エシカル消費について、真庭市環境課の方の講習会を、関係者（生産者、スタッフ）を対象に開催致しました。地産地消、食、買い物、使う等、毎日の消費行動を意識して一人一人が日々を過ごすと言った世界が変わる。と言う事を、生産者、消費者の立場で理解出来ました。この行動を意識しており、店内では、売れ残り野菜をレストランで料理しています。また、肥料（液肥）として、土壌に戻し野菜を育て、安心安全、新鮮なものを販売中です。残り野菜の救済方法として備蓄に備える加工食品（漬物、乾燥、粉末）等、循環した地産地消を六次産業としています。また、今後も継続して参ります。

⑬⑭に於いては、エコバックの推進事業、レジ袋廃止（令和2年7月より有料化）に向け（綿、布製品のオリジナルエコバッグをデザイン）マイバッグ作り教室を定期的に開催し多くの方に告知、宣伝する取り組みを、真庭市環境課（リユースプラザ）の方々と連携を取りながら啓発活動を継続中です。レジ袋から買い物袋への転換、「環境保全是各々身近な心掛け」のPOPを店内掲示し、毎日の声掛けや大勢の参加を目指しています。消費者としても寄付付商品や地元産品、障害がある人の支援に繋がる商品を購入して、店の収益に繋がる工夫を心掛けています。

常にスタッフと関係者が消費行動を意識し、持続可能なSDGs達成に貢献することを宣言致します。

企業・団体の事業等において、持続可能な開発目標（SDGs）の達成にどのように貢献するか、1で○を入れたSDGs目標（ゴール）の達成にどのように貢献するかなどを記載してください。